

言心先生の中国便り

中国の「走婚」現象

社会が激しく変化している中国では、沢山の言葉が死語になり、また沢山の言葉が生まれてくる。

「走婚」は新しい言葉の一つである。

「2015年の中国家庭白書」によると、今中国の60歳以上の老人の人口は約2.2億人で、6人に1人が老人といふことである。

約半数の老人は子供と別居している状態で、10%の老人は一人暮らしをしている。

河南省鄭州市の65歳以上の老人の人口は約82万人で、そのうち配偶者の死別、離婚、未婚のため独居している老人は約21万人である。当然、彼らにとって一人の生活は相当大変で、特に精神面で寂しいと感じている。

その中の一人である六十代

前半の王満倉氏は、近くに住んでいる独身の女性と「黄昏恋」の仲になった。

長い時間の交際の末、双方は再婚を決めたが、財産等の理由により彼らの子供の猛反対で婚姻登録が出来なかった。結局、この年寄りの二人の男女は結婚しないまま二人暮らしすることを決めた。

最近、王氏のような年寄りの老人には、再婚は出来ないが同居する人がかなり多くなり、「走婚」という新語が生まれてきた。

自分の親が再婚することには反対だが、「走婚」という形の家庭状態を容認する子供が多いのである。

一番の理由は、「走婚」という状態が、財産等の面倒な問題を生じないうえ、父母の生活に対する自分の負担が軽くなることである。

「走婚」という社会現象に対して中国の専門家は様々な意見を発表した。

法律の専門家は、「走婚」

という形の同居状態は法律によって保護されないのので、万が一経済的な紛糾が発生したら、双方とも損害を被りかねないという意見を發表した。

一方、心理学の専門家は、

「走婚」はあくまで物質的なことではなく、精神満足のために老人が選んだ生活の形で、社会を安定させると言うプラスの一面もあると言う意見を述べた。



財産はどうなるんだ！
結婚は許さないぞ！

私たち子供の負担が
減るから、一緒に暮ら
すのは賛成だわ！

一緒に暮らせ
ればいいさ…

再婚は諦め
ましょう…

いま中国は6人に1人が高齢者で、
結婚せずに一緒に暮らすケースが
増えているのだ…

陶陶酒本舗の
栄養補助食品

通信販売

携帯電話、PHSからもOK!



0120-039-064

<電話料無料>お問い合わせ/午前9時~午後5時 月~金(祝・祭日等除く)・お申し込み/午前9時~午後9時 年中無休

オンラインショップ

